

活動報告

(抜粋してのご報告になりますが、ご了承ください。)

- ◆1月12日(日) 向東地区交通安全祈願祭に参列しました。
- ◆1月15日(水) 尾道市議会・三原市議会合同議員研修会
『議会改革と議会基本条例について』
- ◆1月17日(金) 今治市議会・尾道市議会議員姉妹都市合同研修会
『なかた美術館見学、尾道教育さくらプラン3について、尾道市立図書館について、爽籟軒見学、ほか』
- ◆2月 1日(土) おのみち立志式に参列しました。
- ◆2月 7日(金) 文部科学省『学校のマネジメント力強化セミナー』に参加しました。
- ◆2月21日(金) 尾道市立向東小学校でゲストティチャートとして、
『租税教室』を実施しました。
- ◆3月 3日(月) 尾道市都市計画審議会に出席しました。
- ◆3月 8日(土) 尾道市立大学新校舎落成式に参列しました。
- ◆3月23日(日) 柿本和彦後援会による市政報告会を開催しました。

●政治資金規正法第12条の規定により、
政治団体である『柿本和彦後援会』は、
広島県選挙管理委員会に平成25年分の収支報告書を提出しました。
概要は次の通りです。

【収入】		【支出】		(単位：円)
前年度繰越金	134,320	備品・消耗品費	15,920	
寄付金	600,000	事務所費	35,630	
機関紙誌の発行 その他の事業による 収入	25,500	組織活動費	63,838	
その他の収入	5	機関紙の発行 その他の事業費	288,600	
		翌年度への繰越	355,837	
《合計》	759,825	《合計》	759,825	

日々の活動をブログで紹介しています。
スマートフォンや携帯電話からもご覧いただけますので、是非、どうぞ!!!
<http://blog.k-kakimoto.com/>



【柿本和彦後援会】

〒722-0062 尾道市向東町3301-1
Tel・Fax兼用 (0848) 41-9315 Fax (0848) 44-6829
メールアドレス: info@k-kakimoto.com
ホームページURL: <http://k-kakimoto.com/>
ブログURL: <http://blog.k-kakimoto.com/>
ご意見等がございましたら、お気軽にお寄せください!



愛と志で誇りある未来を創造しよう!

かきもとかずひこ

柿本和彦後援会 会報 VOL.10

編集：柿本和彦後援会 平成26年 4月18日発行

ラストイヤー!?

尾道市議会に送り出していただき3年の月日が流れました。
今年は任期4年間のラストイヤーになります。
皆さまにご恩返しができるよう、次代の子どもたちに恩送りができるよう、
“今、ここ”を精一杯行動して参りたいと思います。
改めまして、今後ともご指導の程、よろしくお願い申し上げます。

大きな視野で周りを観る!?

今、地方自治は大きな転換期にあるように思います。
道州制、地域主権改革など、地方が主体的に行動するシステムの検討がされていますが、
背景には社会経済情勢の大きな変化があります。

『地域主権改革は、地域住民が自らの判断と責任において、
地域の課題に取り組むことが出来るようにするための改革』と言われていますが、
自治体が生き残っていくための改革でもあるように思います。

議会において、“開かれた議会”、“市民への説明責任”などを旗印として、
さまざまな議会改革が行われていますが、
これらも地域主権改革の中で、市民参加を見据えた改革の流れの一つだと思います。
地域主権改革の中にあっては、これまでのような議会の在り方では生き残れないのだと
思います。国会のミニチュア版ではなく、市民一人ひとりが主役となれるような
二元代表制の議会をしっかりと構築していかなければなりません。

ダーウィンの進化論でも、“環境の変化に対応できるものが生き残る”と言われていた
ように、誇りある未来を創造していくためには、従来の“依存と分配”のシステムから
“自立と創造”のシステムに転換しなければなりません。

そうした中、将来の日本を考えた時、現代の若者の言動を観ると大変不安になります。
いつの時代も“今時の若者は...”と言われていますが、私が分析する限り、
現代の若者はそれをはるかに超えているように思います。

バブル崩壊後に生まれ、ほとんどの物が身の周りにあるという生活の中で育っています
ので、自分から積極的に何かを手に入れようとするのが少ない、あるいは、
何もしなくてもほほほの生活なら送れるという“錯覚”が身に付いている
ためではないかと感じます。

過去を振り返り、環境の変化を的確に見極め、現代の若者が“生きる力”を育めるよう
そして、将来の日本を担う若者が育つよう、私も地域から、今できることを精一杯行動し、
誇りある未来を創造して参りたいと思います。

柿本和彦の活動報告 《2014（平成26）年1月～3月》

研修報告

◆2月7日（金）、文部科学省において開催された「学校のマネジメント力強化セミナー」に参加させていただきました。文科省の初等中等教育局の局長さんのあいさつに始まり、同初等中等教育局の企画官さんから行政説明があり、その後、『コミュニティスクール運用上の課題と教育行政』というテーマで、7名のグループに分かれて熟議を行いました。いずれの学校も“保護者や地域への浸透が難しい。”、“一部のスタッフに過大な負担が掛かっている。”など、同様の課題を抱えていました。最後に、東京都教育委員でもあられる乙武洋匡さんによる記念講演で、閉会となりました。



要望活動

◆会派（誠友会）で、2月6日（木）と7日（金）の二日間、議員会館などを訪問し、地元選出の国会議員の先生方に要望活動を行って参りました。初日は、衆議院議員の亀井先生と寺田先生、参議院議員の溝手先生、二日目は、衆議院議員の小島先生を訪問し、海事都市を標榜する尾道市として、2014問題を乗り越えた造船産業の将来に関して、若者の雇用創出のため、また、エネルギー転換への技術活用のため、さまざまな分野から、ご指導をいただけるようお願いをして参りました。

予算特別委員会での質問事項《抜粋》

3月10日（月）～13日（木）に開催された予算特別委員会において、柿本和彦が質問したことを理事者側の答弁と共に抜粋してご報告します。

問 新年度からの市営駐車場の料金改正について
【質問の意図（めあて）】
駐車場自動料金徴収システムについて確認する。
【背景及び問題意識】
○プログラムのバグ（テスト漏れ）により失態を犯した過去がある。
○基準日の扱いについてどのようになっているのか？
【質問内容】
○プログラムのテストは十分行っているのか？
○基準時刻をまたがる場合の扱い及び利用者への告知をどのように考えているか？

答 施行日をまたぐ賃貸借契約においては、入庫時ではなく、出庫時が基準となるので、3月31日に駐車場に入れても4月1日に出すと新料金になる。料金徴収システムの確認を入念に行い、新料金の体系についても周知徹底する。

問 地区集会施設等リフォーム助成制度について
【質問の意図（めあて）】
公平公正かつ、使いやすい補助金を考察する。
【背景及び問題意識】
○町内会加入世帯が減少する中で、積み立てが思うようにいっていない町内会が多い。
○一度限りの半額補助では、その時点での積立額に大きく左右され、公平ではない。
【質問内容】
○利用回数の制限を無くしてはどうか？

答 コミュニティ活動の充実強化を図るため、1ケ年200万円の補助を上限に、何度でも申請できるよう助成制度を変更する。

問 尾道市立図書館の指定管理者制度への移行について
【質問の意図（めあて）】
公立図書館の持つ役割並びに市民ニーズに合った図書館運営を考察する。
【背景及び問題意識】
○図書館を指定管理者制度で運用する行政が増えてきた中で、課題を確認する。
○公立図書館が持つ特異な役割を指定管理者制度で担保できるのか？
【質問内容】
○市立図書館では、需要が無くとも郷土の資料や書籍を充実させるという責任があるが、指定管理とした場合、需要が無い蔵書に対して、どのような対策を取るのか？
○蔵書の購入や貸し出しの自由など、制度を導入後、どこまで教育委員会が関わるのか？

答 図書購入については、図書館の司書等で構成する選書会で十分吟味して決定する。また、郷土の資料や書籍は需要の有無に関係なく、充実させるよう努める。指定管理者制度を導入すれば、開館時間の延長や休館日の減少で、市民へのサービスが格段に向上すると考える。